



右の部分は^{つくり}旁と呼ばれています。言葉としての性格

的、基本的な意味と発音とを表わすことの多い、重要な部首です。第1章で解説された「夂・且・青・主……」

というような部首がこれです。

しかし、左にあげる部首は、その字が何に関係あるかを表わす部首で、これらの部首が旁に使われる字は、逆に扁が言葉としての性格的基本的意味や発音を表わします。

頁^{おおがい}(大貝)頭の意味……………頭・顔・額

卩^{おおざと まち}(大里)邑の意味……………都・郡・郷

彡^{さんづくり かざり}(三旁)飾の意味……………形・彫・杉

隹^{ふるとり}(旧鳥)鳥の意味……………雄・雑・難

刂^{りっとう}(立刀)力の意味……………判・別・創

力^{ちから}(力)努力する意味……………勤・動・励

欠^{あくび}(欠)口を開く意味……………歌・飲・吹

殳^{るまた}(ル又)武器を持つ意味……………殺・役・殴

夂^{のぶん}(ノ文)鞭を持つ意味……………政・教・牧

頁は、貝に似た字形なので、“大貝”という名前がありますが、意味は全く貝に関係がありません。鼻(自)を中心にした顔、または頭の意味の部首です。

卩は、扁の所で話しましたように、“小里扁”と全く同じ形ですが、旁では“大里”の名の通り“町”という名の部首です。邑^{まち} 邑の簡略化した形です。

隹は、鳥という今の字形に対して、古い字形という意味で“ふる鳥”と言います。

欠は、夂で、“あくび”が本義の字ですから“あくび”という名が付けられました。

欠と夂は、字形がよく似ていますが、意味が全く違いますので注意しましょう。